

スマホやタブレット 適切に使えていますか？

ここ数年、全国学力・学習状況調査の生徒質問紙（生活や学習に関する質問）の中でいくつか気になる項目があります。そのうちの 하나가、スマホやタブレット、ゲームに関する質問です。おうちの人との約束事と、1日あたりの使用時間について特に気になります。

まず、スマホを買ってもらったときの「約束」について。今年の3年生の調査結果ではスマホを買ってもらったとき、約6割の人が何らかの「約束」をしています。そして、ほとんどの人がその約束を守ることができています。

ただ、4割の人は「何も約束をしていない」のです。中学生は未成年なので保護者の同意なしにスマホを契約できません。保護者の方も、買い与えるときに使い方や時間について、何らかの約束・我が家のルールを決めてほしいと思います。

「約束」しているご家庭も、今一度、内容をしっかり確認してください。ある生徒に「スマホを買ってもらったときに、おうちの人と何か約束をしましたか？」と尋ねると、「はい」と答えてくれました。ところが、その内容は「テスト前にはしっかり勉強する」という事でした。果たしてこれはスマホを買い与えたときの適切な約束といえるでしょうか。参考に、裏面にアメリカのある母親が13歳の息子にスマホを与えたときの「18の約束」を掲載します。とても大切なことが書かれています。これらの約束ごとはお子さんを信用できないから縛り付けているのではありません。中学生として、また、人として必要なモラルを約束しているのです。そして、決して子ども任せではなく、「失敗したときは一緒に考えていこう」と保護者が子どもに責任を持って寄り添うことも約束しています。

個人のスマホやPCは確かにプライベートなものでしょう。但し、それは自分で働いて得た報酬で購入し維持費を払えること、起こったこと責任をすべて自分で背負えること、つまり、成人からの話です。せめて中学生の間は保護者の監督の下、使用させることをお願いします。スマホやPCは、便利なツールです。現在社会において、所持することを止めるわけにはいきません。しかしながら、使い方を誤れば、危険なこともあります。現に、SNSによるトラブルも少なからず起きています。学校でも繰り返し、使い方やモラルについて学習をしていますが、ご家庭でもこの機会にルールや使い方について話し合ってみてください。

安心して便利に使いこなすための方法をご家庭でもしっかりと話し合ってください。

次回は、使用時間について考えます。

